



鳥羽市観光基本計画 事業計画（後期アクションプログラム） ＜2011～2015＞

鳥羽市役所 観光課

はじめに — アクションプログラムとは

役割

平成20年1月に策定した「鳥羽市観光基本計画」に基づき、各基本戦略の具体的な内容を定めると同時に、鳥羽観光の目標（目指すべき観光地像）を着実に実現していくため、鳥羽市が優先的かつ重点的に実施すべき事業・取り組みを示したものです。

計画期間

平成20年度から平成22年度には2ヵ年を計画間として前期アクションプログラムをほぼ計画どおり推進してきました。後期アクションプログラムの計画期間は平成23年から平成27年までの5年間となります。

目標実現のための5つの重点戦略

伊勢神宮式年遷宮に向けた誘客促進と受け皿づくり

重点戦略1. 鳥羽マリンタウンエリアの魅力づくり

鳥羽マリンターミナル完成を機に国際観光文化都市、伊勢志摩地域の海の玄関口としての鳥羽マリンタウンエリアの魅力づくりを進めていきます。

重点戦略2. 宿泊産業活性化の推進

式年遷宮に向けより多くの方に鳥羽に泊まって滞在していただくため、宿と地域が一体となって取り組みを始めている「宿泊産業活性化」の更なる推進を図ります。

重点戦略3. 食の魅力創造と食をテーマとした旅の構築

鳥羽の豊富な食材を活かし、鳥羽らしい付加価値のある食を提供するため、食の魅力づくりとともに宿泊産業との連携を強化し、食をテーマとした回遊性のある旅の構築に取り組みます。

重点戦略4. 首都圏を含めたプロモーションの強化

国内最大のターゲットであり、国内外の情報発信の拠点である首都圏を中心とした市場をターゲットとして、滞在型の観光客を誘致していきます。

重点戦略5. インバウンドの促進

国のインバウンド政策が積極的に進められ、増加が期待されている外国人観光客のニーズを的確に把握した上で、中国をはじめとする東アジア市場を主なターゲットとしてプロモーション活動や受入体制の整備を進めていきます。

1. 文化遺産を活かした観光振興事業

＜事業目的＞

文化財の公開活用、史跡等の復元・公開、地域に伝わる伝統芸能等の承継・公開など、地域の特色ある取り組みを支援し、地域の文化遺産を活かした観光振興を推進します。



2. 海女文化活用事業

＜事業目的＞

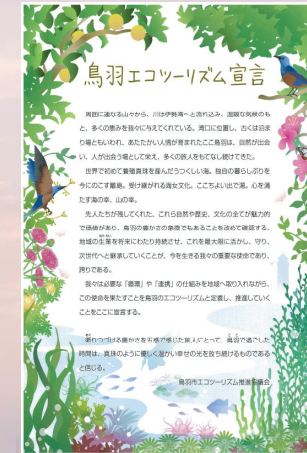
国内だけでなく、世界にも誇る海女文化は、本市の成り立ちや人々の営みにも深く結びつく、鳥羽ならではの魅力です。鳥羽・志摩地方を中心とした海女文化の発信や活用を通して、地域社会の持続や自然環境の保護を図りながら観光振興に結びつけていきます。



3. エコツーリズム推進事業

＜事業目的＞

観光業をはじめとした各産業の持続と活性化を目指し、豊かな自然や歴史、文化など地域固有の資源について地域内の合意形成を図りながら保護と活用を進めるエコツーリズムの推進を図るため、鳥羽市エコツーリズム推進協議会の活動を支援します。



4. 伊勢湾フェリー利用促進事業

＜事業目的＞

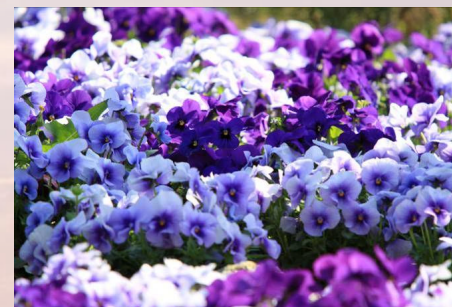
伊勢志摩地域と東三河地域を結ぶ鳥羽伊良湖航路について、鳥羽市をはじめ、伊勢志摩地域にとって観光産業や水産業等における物流においてなくてはならない重要な航路であることから、同航路の利用促進策を実施していきます。



5. 花を活用した歓迎空間づくり事業

＜事業目的＞

“鳥羽観光の玄関口”である鳥羽駅周辺において、観光客の利便性や快適性を高めるような歓迎空間の創出を図ります。玄関口らしさの演出と、観光客を歓迎する挨拶表現の方法として、花を活用していきます。



6. 鳥羽城跡を活かした町なかの界隈づくり事業

＜事業目的＞

全国でも希有な海城である九鬼水軍の城跡と周辺の歴史的・文化的資源を活かしたまち並み整備を行うことで、城跡を中心とした回遊性のあるまちづくりを進めていきます。



7. 鳥羽市観光駐車場整備事業

＜事業目的＞

ゴールデンウィークやお盆などの観光繁忙期における市内の渋滞緩和と観光客の受け入れ体制を整備します。



8. カモメの散歩道水中ライトアップ事業

＜事業目的＞

鳥羽の夜の魅力づくりのひとつとして、夜間に海辺の散策を楽しむことを演出し、観光客の滞在時間の延長や満足度の向上につなげていきます。



9. ウォーターフロントのイルミネーション事業

＜事業目的＞

カモメの散歩道付近からマリンターミナルにかけてウォーターフロントラインのイルミネーションを実施します。マリンターミナルからの連続した夜景を演出し回遊性の向上を図ります



10. 夜の魅力アップ支援事業

＜事業目的＞

鳥羽の夜の魅力を高めることにより、観光客の滞在時間の延長や宿泊客の増加につなげていきます。



1 1. 観光案内サイン整備事業

<事業目的>

鳥羽市内の観光案内サインについて、デザインや表記の統一を図り、観光客の利便性及び利用者の満足度の向上を図ります。



1 2. 宿泊産業活性化推進事業

<事業目的>

鳥羽市の観光産業、特に宿泊産業の活性化を図るための戦略である「鳥羽市観光産業活性化戦略」を推進し、「鳥羽に泊まってみたい」、「また鳥羽に泊まりたい」、「もっとゆっくり鳥羽にいたい」と思っただけのような質の高い滞在型の観光地を目指します。

1 3. 消防施設整備事業

＜事業目的＞

市民及び観光客の生命・身体・財産の保護を目的に消防施設の充実を図るため、多様化する災害に対応できる消防力及び機動力の強化を計画的に進めます。



1 4. 景観ブラッシュアップ事業

＜事業目的＞

鳥羽観光の魅力である臨海部や高所から見ることのできる太平洋や伊勢湾、島々のおりなす美しい景観を保全するとともに、ビューポイント整備などを行い、その魅力に磨きをかけていきます。



1 5. 事業系生ごみ再資源化システム構築事業

<事業目的>

事業所から排出される生ごみを資源化することで、事業所の排出ごみ量を減少させ、循環型社会システムを構築し、環境共生型（エコ）観光事業の推進を図ります。



1 6. 鳥羽駅ボランティアガイド事業

<事業目的>

繁忙期における鳥羽駅の観光案内を充実させ、観光客がスムーズに観光できるようにソフト面でのおもてなしを展開します。



17. バリアフリー観光推進事業

＜事業目的＞

高齢者や体の不自由な方など、当市を訪れる多様な観光客が旅行を楽しむことができるように、バリアフリー観光を推進していきます。

18. 子ども・若者への観光教育事業

＜事業目的＞

子どもや若者世代が、地域に対する知識や愛着を深め、観光資源となる環境（自然・歴史文化等）保全の意識と観光客に対するおもてなし心の醸成を図ります。



19. ご当地グルメ推進事業

＜事業目的＞

地域ならではの食材を活用した「食」の魅力を創造し来訪者に提供していくことで、本市が誇る大きな資源である「食」に付加価値をつけ、来訪者の満足度向上および鳥羽市全体のPRを図ります。



20. 食をテーマとした新しい旅の構築事業

＜事業目的＞

地域の食文化や食にまつわる起源、ストーリーなど鳥羽の食をテーマに回遊する「食をテーマとした新しい旅の構築」に取り組み、観光客の市内滞在時間を延ばします。



2 1. 食の魅力開発事業

＜事業目的＞

市内で提供される料理や食材について、観光客がさらにもう一食楽しんでもらえるような「食」の魅力づくりや付加価値の創出を行い、宿泊産業と連携した滞在時間の延長を目指します。



2 2. まち歩き島歩き旅行商品造成販売事業

＜事業目的＞

まち歩き島歩きを旅行商品として流通させることにより、地域内での観光客の回遊性を高めて、町に観光客があふれる観光地を目指しますとともに、地域の事業者の参加を勧めることで、さらに商品としての魅力を向上させるとともに、地域の魅力の更なる向上を図ります。

2 3. 滞在型旅行商品の造成販売事業

＜事業目的＞

近年の団体旅行から多様な価値観を持つグループ旅行・個人旅行への旅行形態の変化や、日帰り客の増加に対応するため、伊勢志摩地域で連携を行い、各地の地域資源を活用した旅行商品を提供し、周遊を促進させることにより、滞在時間の延長につなげていきます。



2 4. 広告宣伝戦略事業

＜事業目的＞

核となるアイデアに基づく一貫した広告宣伝を実現し、当市への来訪や観光行動へと結びつけていきます。



2 5. 首都圏戦略旅行商品造成事業

<事業目的>

首都圏をターゲットとした伊勢志摩地域の周遊型旅行商品の造成により、当市における宿泊滞在の増加に結びつけていきます。



2 6. 離島の魅力創出事業

<事業目的>

離島への観光促進のため、各離島が連携して魅力創出を図り、各島のPRに繋げるとともに、離島観光の継続的な魅力を底上げすることを目的とします。



27. インバウンド促進事業

＜事業目的＞

今後、増加が期待される外国人観光客の誘致を進めることにより、当市の観光振興を図るとともに、国際交流を通して国際観光文化都市としての役割を果たしていきます。

28. マーケティング調査事業

＜事業目的＞

観光客の来訪実態やニーズに関するきめ細かなデータを各種団体間で共有し、行政の施策推進や個々の事業者が競争力を高めるのに役立てることを目的とし、アクションプログラムの効果的な推進に反映させていきます。

29. 市観光アドバイザー事業

＜事業目的＞

専門的な知識や経験を持つ人材をアドバイザーに迎え、鳥羽市観光基本計画およびアクションプログラムを円滑に推進します。



30. 観光基本計画推進事業

＜事業目的＞

鳥羽市観光基本計画推進協議会において重点事業（アクションプログラム）を効果的に推進していくための協議を行い、『鳥羽市観光基本計画』に掲げられた鳥羽観光の目的の達成を目指します。



3 1. 新時代の鳥羽観光を担う人材育成事業

＜事業目的＞

将来の鳥羽市の観光を中心になって担う世代のネットワークの場をつくり、研鑽や交流の機会を通して、地域全体の視点から観光地経営をリードしていく人材を育成していきます。

